

【資料1】

おおい原発止めよう裁判の会 報告より抜粋

報告 7月7日 大阪地裁 国相手の大飯原発止めよう裁判・第22回法廷&報告・交流会
「基準地震動の過小評価なし」との国の主張に全面的に反論

原告、国が地震データを改ざんした疑いを指摘

→ 国は次回説明 

報告・交流会 被告第16準備書面の批判 基準地震動の争点について
大飯3・4号炉をめぐる状況と取組について～10月再稼働を止めるために～

次回第23回法廷 9月27日(水)11:00～ 大阪地裁202号法廷

7月7日11時より、国相手の大飯原発3・4号の運転停止を求める裁判(第22回法廷)が、大阪地裁202号法廷で開かれた。原告・支援者約65名が傍聴した。



今回の法廷に向け、原告・国双方が事前に準備書面を提出した。原告の準備書面(20)は、基準地震動に過小評価はないとする国の第16準備書面に全面的に反論している。国の第17準備書面は、原告が前回法廷に提出した準備書面(19)に対する反論である。

開廷すると、裁判長と左陪席が新しい裁判官に交代していた。裁判長は双方の提出した書面を確認し、続いて原告側弁護士が、約30分かけて準備書面(20)の要旨を陳述した。以下、その内容を紹介する。

◎ 武村式を批判するために、地震データを改ざんした疑い → 国は、次回説明することに

原告は、北米等の地震データに基づき基準地震動を過小評価する入倉・三宅式ではなく、日本の地震の特徴を反映した武村式を用いるべきと主張している。

これに対し、国は日本の地震と北米等の地震とでスケーリング則(断層面積と地震モーメントの関係式)に違いはないと反論している。その根拠として「宮腰ほか2015」(乙61号証)を出してきた。しかし、この論文にまとめられている地震データの元文献に当たってみると、断層面積Sが元文献の値よりも「宮腰ほか2015」の方が理由もなく大きな値に書き換えられているものがあつた(福井地震1948では300→600、三河地震1945では300→750)。「宮腰ほか2015」は、当該の断層面積Sの値を意図的に操作している疑いがある。

「1948年福井地震」のデータ

	地震の規模 Mo (Nm)	Mw	断層長さ L(km)	断層幅 W(km)	断層面積 S(Km2)	すべり量 D(m)
元文献データ 菊池・他(1999)	2.1E+19	6.8	30	10	300	2.3
入倉・宮腰・釜江 (2014)	2.1E+19	6.81	30	10	300	2.3
宮腰・入倉・釜江 (2015)	2.1E+19	6.81	30	20	600	2.3

「1945年三河地震」の地震データ

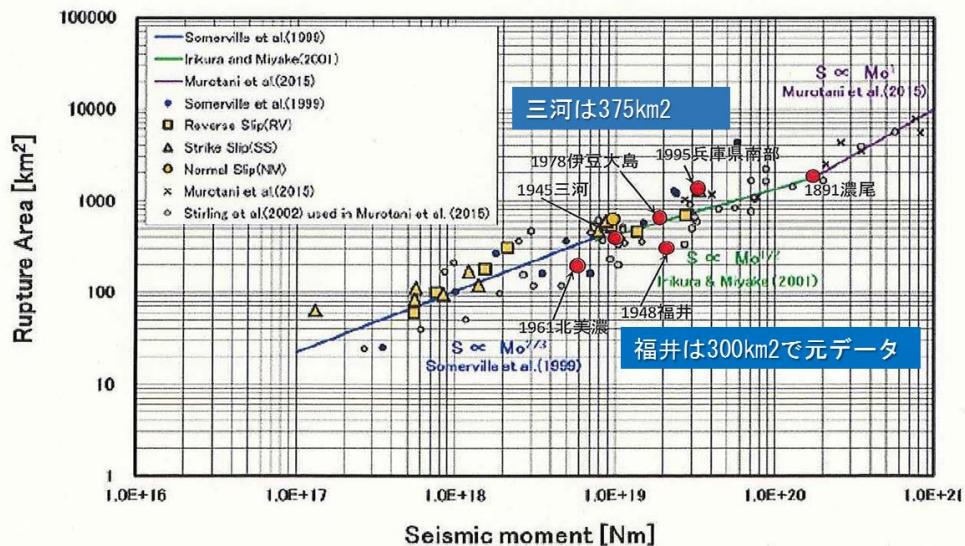
	地震の規模 Mo (Nm)	Mw	断層長さ L(km)	断層幅 W(km)	断層面積 S(Km2)	すべり量 D(m)
元文献のデータ Kikuchi et al. (2003)	1E+19	6.6	20	15	300	1.1
入倉・宮腰・釜江 (2014)	1E+19	6.60	20	15	300	1.1
宮腰・入倉・釜江 (2015)	1E+19	6.60	25	15	750	1.1

ところが国は、その「宮腰ほか(2015)」に基づくとしたグラフ(下記の図2)では、勝手に別の値に置き換えている(福井地震1948では600→300、三河地震1945では750→375)。このような国の態度は、国自身が「宮腰ほか2015」のデータが信頼できないものであることと認めていることを表しているが、国は何故このような書き換えをしたのか説明すべきである。このような論文に基づきスケールリング則に差異はないと結論づけることなどできない。

原告は下記2点について国に釈明を求めた。国は、次回に回答すると述べた。

①「1948年福井地震」の断層面積データについては、何ら説明を行うことなく、「宮腰ほか(2015)」の地震データ(「S=600」)を用いず、「菊池・他(1999)」のデータ(「S=300」)を使用している。何故、「宮腰ほか(2015)」の地震データを用いなかったのか、その理由を明らかにすること。

②「1945年三河地震」の断層面積データについては、何故、「宮腰ほか(2015)」の断層面積(S=750)を用いず、「S=375」という数値を用いたのか。また、「宮腰ほか(2015)」の断層面積(S=750)が誤っていると判断したのであれば、何故、引用文献である「Kikuchi et al. (2003)」の「S=300」という数値を使用しなかったのか、その理由を明らかにすること。



「上図に示された赤色の●が、乙第61号証11ページの表6に掲載されている震源インバージョンの結果を収集・整理したデータである」(国の第16準備書面p.51)
(図中の青い囲みは原告側で挿入)